

風水害への備え



生駒警察署



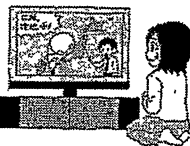
まもなく出水期に入り、梅雨前線の発達や台風による集中豪雨などにより、河川の急な氾濫や土砂災害の危険性が高まります。

災害による被害を少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、つまり自分の身の安全を守ることが大切です。防災対策には、“十分”や“絶対大丈夫”ということはありません。この機会に、ご自身の防災対策について一度考えてみてはいかがでしょうか。

災害情報の収集

発生予想が困難な地震を除き、台風や集中豪雨などによる災害については、ある程度予想することができます。自然災害の発生頻度が高くなるこれからの時期は特に気象情報に注意し、事前に備えることが重要です。

県の公式ホームページにおいても、気象情報や道路情報等の掲載や防災に係るハンドブックを無料アプリで配信しています。



【奈良県公式HP】

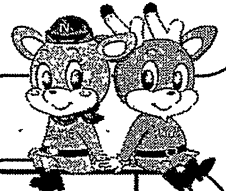
→ <http://www.pref.nara.jp/1825.htm>

※「防災・危機管理・奈良県公式HP」からアクセス

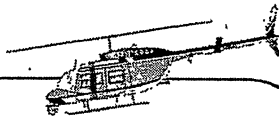
【奈良県発行無料配信アプリ】

→ 女性視点の防災ハンドブック

※「App store」「Google Play」から“奈良県防災アプリ”で検索



土砂災害



土砂災害は一気に起こる可能性があり、避難が遅れると命にかかわります。風雨が激しくなったり、日が暮れて暗くなってからでは移動が困難になるので、特に高齢者や子どものいる家庭では、早い段階から避難をするよう心掛けて下さい。

また、避難する際は、可能な限り複数で避難するよう心掛けてください。



台風

窓や雨戸は施錠をし、必要に応じて補強をしてください。また、屋外にある風で飛ばされそうな物（植木鉢や洗濯バサミ、ハンガーなど）は、しっかりと固定してください。

一方で、屋内でも窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、断水に備えて、お風呂に水を張っておくなどの対策をお願いします。



河川の氾濫

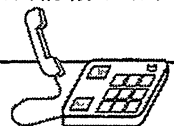
土砂災害と同じく、河川も急に増水し、氾濫するおそれがあります。河川が増水すれば流れも速くなり非常に危険ですので、絶対に近寄らないでください。

特に用水路や農地の様子を見に行き行って誤って流されるといった被害に遭うことがありますので、風雨が激しくなる中、河川や用水路を見に行くことはやめてください。



『災害用伝言ダイヤル（171）』をご存じですか？

災害用伝言ダイヤルは、災害時に、自身の安否情報を録音して伝言として残し、また、安否情報を知りたい人の伝言を聞くことができます。



生駒警察署 ☎0743-74-0110

P O L I C E